

○題材 「良好で豊かなコミュニケーションについて考え、実践しよう」【学級活動（2）イ よりよい人間関係の形成】

○ねらい

- ・良好で豊かなコミュニケーションが成立するために必要な事柄を考えさせ、私たち一人ひとりが多様な個性ある存在であることを前提としたコミュニケーションのあり方を考えさせる。また、よりよい人間関係づくりや仲間づくりのために、第三者の「架け橋対応（アドボカシー対応）」が主体的に実施できるようにする。

【人権教育を通じて育てたい資質・能力】

- ・適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能【技能】
- ・対立的問題に対しても、双方にとってプラスとなる解決法を見いだすことのできるような建設的な問題解決技能【技能】
- ・自他の違いを認め、尊重する意識、多様性に対する肯定的態度【態度】

○指導の展開及び指導上の留意点

※丸数字は「とっとりの授業改革【10の視点】」

	学習活動	◎主な発問 ・生徒の反応	指導上の留意点と評価方法（※）
導入	1 活動のねらいを確認する。	◎「コミュニケーションをとる」とは、どんなことだと思いますか。 ・話し合うこと。 ・意見を言い合うこと。 ・気持ちが伝わること。 ◎良好なコミュニケーションをとるために必要なことを考えよう。	○自分の考えや心掛け等を伝え合い、課題意識を持たせる。
展開	2 場面や状況によって言葉の意味が変化することを理解する。  3 言葉の裏にある話し手の意図を理解する。	◎次の会話で、二人は何について話し合っているのでしょうか。 Aさん「ぼくは、キツネ」 Bさん「わたしは、タヌキ」 ・動物の物まねゲーム？ ・うどんとか蕎麦のメニューのこと？ ◎次のような場面での会話だとしたら、どんな意味になるでしょう。(⑤) 【例1】学級会の場面 【例2】食堂の前に並んでいる場面  ◎町内のバス停で知らない人から「今何時かわかりますか？」と聞かれたら、あなたなら何と答えますか。 ◎AさんとBさんは次のように答えました。二人の回答にはどういう違いがありますか。(⑤) Aさん「わかります」 Bさん「午前9時50分です」 ・Aさんは言葉通りに答えている。 ・Bさんは「相手の人は時刻を知りたいんだな」と想像して答えている。	○様々な場面や状況を想定させ、自由に発言させる。  ○イラストの使用やシミュレーションでイメージしやすくする。 ※場面や状況によって、同じ言葉でも表す意味が変化することが理解できたか。(観察)  ○回答としては、どちらも間違いとは言えないことをおさえる。 ○どちらの対応がより丁寧か、相手の視点から考えさせる。 ※言葉に込められた相手の目的(意図、メッセージ)を推察すると、コミュニケーションが円滑となることが理解できたか。(観察)

	4 架け橋対応を知り、実践できるようになる。	<p>◎（資料より）ある学級で二人の生徒のいさかいが起こりました。このあと、AさんとBさんはどうなったでしょう。(②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケンカになった。</li> <li>・一言も口を利かない関係になった。</li> </ul> <p>◎あなたはAさんとBさんの共通の友人です。あなたは二人を何とか仲直りさせようと決心しました。この後、どのような行動をとりますか。(⑥)</p>	<p>○シミュレーションや資料の精読により状況をしっかり理解させる。</p> <p>○グループ活動で考えさせ、発表させる。</p> <p>○生徒から出てきた内容を基に、第三者による「架け橋対応」（「正しい情報の伝達」「感情の代弁」「相互の誤解の解消」「適切な言動のアドバイス」）について確認し、日常生活に活かすことが必要であることを理解させる。</p> <p>※主体的に「架け橋対応」について考えているか。（観察）</p>
終末	5 授業を振り返る。	◎今日の授業で大切だと感じたこと、これから自分が心掛けたいことなどをワークシートにまとめよう。(④・⑧)	※授業を振り返り、ねらいが達成できたか。(ワークシート)

### 【資料】

Aさん

朝読書が始まるので、席に着こうと机の間を歩いていたら、着席していたBさんの腕に体があたってしまった。謝ろうとしたら、Bさんがものすごい目つきで睨んでいたの、とっさに言葉がでなかった。Bさんに、「何するんだよ。本が破れただろ。」と怒鳴られた。どうやって弁償しようかと考えていたら、Bさんはニヤニヤしながら、僕が一番言われたくないことを言った。僕は頭にきて「わざとしたんじゃないだろ」と言い返して、自分の席に座った。そのあとも、Bさんは何回もこちらを向いて、睨みつけてくる。今度何か言ってきたら、ぶん殴ってやる。

Bさん

その日は、成績のことでお母さんから叱られて、朝から機嫌が悪かった。イライラしながら朝読書をしていたら、Aさんが僕の腕にぶつかってきた。思わず睨みつけ、怒鳴ってしまった。Aさんが黙ったままなので、ますます頭にきて「何で謝らないんだよ。だいたいお前は鈍くさいんだよ。だから、短距離走でいつもビリになるんだよ」と言ってしまった。Aさんは真っ赤な顔になり、何かしゃべって、プイと席に帰っていった。「何を言ったんだろう」と思ったが、先生が来て朝学活になった。そのあとで、「しまった。言い過ぎたかも」と考えた。その日は、Aさんのことが気になり、何度も視線を向けたが、ことごとく無視された。どうしよう。